

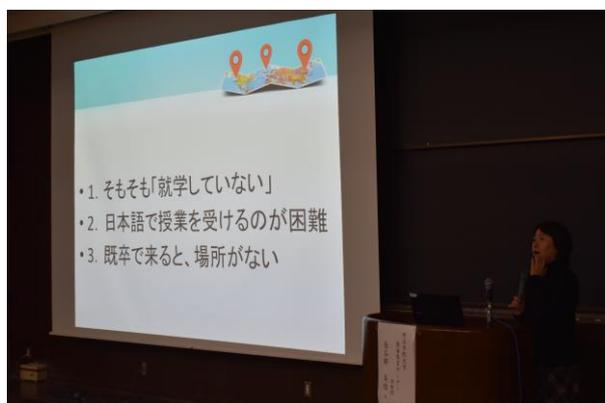
# 令和元年度 多文化 Opinion Exchange 報告

- 1 日時 令和元年 12 月 7 日（土） 13:30~16:30
- 2 場所 明治学院大学 白金キャンパス 本館 1101 号室  
（港区白金台 1-2-37）
- 3 発表者 ①秋田公立美術大学大学院教授、「イミグレーション・ミュージアム・東京」主宰、  
「Journey to be Continued—続きゆく旅—」監督 岩井 成昭 氏  
②明治学院大学 経済学部経済学科 2 年  
天野 萌 さん （トークセッションのみ）  
③明治学院大学 国際学部国際学科 2 年  
井口 恵 さん （トークセッションのみ）
- 4 ファシリテーター 明治学院大学 教養教育センター 准教授 長谷部 美佳 氏
- 5 参加者 43 名
- 6 その他 イベントの様子は以下の通り

□ 13:30 開会

■ 13:30~13:35 開会挨拶  
（一財）自治体国際化協会 多文化共生課 課長 藤波 香織

■ 13:35~13:45 イン트로ダクション  
明治学院大学 教養教育センター准教授 長谷部 美佳



長谷部先生より、外国人の子どもの教育の現状についての紹介をいただきました。特に日本語で授業を受けること困難で、中退も増えていることについてお話をいただきました。また、「ダブルリミテッド」という考え方（二か国語が多少、あるいはある程度話したり使ったりすることが出来るが、年齢相応のレベルに達していない状態）、についても教えてくださいました。

■ 13:45~14:05 発表

秋田公立美術大学大学院教授、「イミグレーション・ミュージアム・東京」主宰、  
「Journey to be Continued—続きゆく旅—」監督 岩井 成昭

岩井先生より、「移民」や「多文化共生」の定義についての説明の後、「イミグレーション・ミュージアム（移民の博物館）」のご紹介をいただき、アート（音楽、料理等）を通して、移民の歴史、地域の多文化共生についての展示などを行っていること、またその事例についてお話をいただきました。



■ 14:05~15:15 「Journey to be Continued—続きゆく旅—」 上映

□ 15:15~15:30 休憩

■ 15:30~16:30 トークセッション

ファシリテーター： 明治学院大学 教養教育センター 准教授 長谷部 美佳

スピーカー： 秋田公立美術大学大学院教授、「イミグレーション・ミュージアム・東京」主宰、  
「Journey to be Continued—続きゆく旅—」監督 岩井 成昭  
明治学院大学 経済学部経済学科 2年 天野 萌  
明治学院大学 国際学部国際学科 2年 井口 恵



最後に、トークセッションでは、ファシリテーターの長谷部先生、岩井先生の進行のもと、明治学院大学の天野さん・井口さんにスピーカーとして参加者に向けて自身の経験などをお話いただきました。天野さんは中国にルーツを持っており、日本には小学生4年生の時に来日しました。井口さんはベトナムにルーツを持ち、日本で生まれ育ちました。お2人には自分の経験や、映画に出演していた子どもたちが持つバックグラウンドへの気持ちや考えをお話いただきました。また、

参加者からの事前質問にも長谷部先生と岩井氏が答え、「Journey to be Continued—続きゆく旅—」の作成のプロセスや、今後の外国にルーツを持つ子どもの日本語教育の支援方法などについてご意見をいただきました。

□ 16:30

閉会